

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：京都府安心・安全の森づくり整備事業
- 2 整備計画年度：平成28年度～平成30年度(3年間)
- 3 事後評価年度：令和元年度

事後評価項目	評価の内容
① 交付対象事業の進捗状況	・ 林道改良事業 平成30年度に完了しました。
	・ 林道開設事業 平成30年度に完了しました。
	・ 林道点検診断・保全整備事業 平成30年度に完了しました。
	・ 予防治山事業 平成30年度に完了しました。
	・ 林地荒廃防止事業 平成30年度に完了しました。
	・ 治山施設機能強化事業(老朽化対策) 平成30年度に完了しました。
	・ 漁場保全の森づくり事業 平成30年度に完了しました。
② 事業効果の発現状況	・ 林道改良事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 林道開設事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 林道点検診断・保全整備事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 予防治山事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 林地荒廃防止事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 治山施設機能強化事業(老朽化対策) 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 漁場保全の森づくり事業 平成30年度の事業完了により事業効果が発現しました。
③ 成果目標の目標値の実現状況	① 路網整備により新たに条件整備された森林面積 【目標値】 1,172ha 【実現状況】 519ha
	② 安心・安全な地域づくりの推進 山地災害防止機能が高まった集落数の増加(3カ年) 【目標値】 444集落(H27時点) → 473集落(H30計画) 【実現状況】 444集落(H27時点) → 478集落(H30実績)
④ 今後の方針	整備計画年度を平成31年度～令和3年度(3年間)とする新たな計画を樹立し、引き続き林道整備により林業の生産基盤の強化を図るとともに、間伐等の森林整備を進め、治山事業により森林の土砂流出防止機能や水源かん養機能の向上を図り、安心安全の森づくりを目指します。